

東レグループ瀬田 環境・社会活動報告書 2007



東レグループ瀬田各社

東レ（株）瀬田工場
東レエンジニアリング（株）瀬田工場
東レ・プレジジョン（株）

瀬田工場

瀬田工場の概要



所在地 大津市大江1丁目1番1号

〒520-2141 TEL(077)544-3500代表

主な生産品 紡績糸・医療用具

沿革

昭和12年 6月 瀬田工場建設

昭和13年 4月 スフ紡績・織布の生産開始

昭和24年10月 スパンレーヨンを初出荷、
10月17日を工場記念日に制定

昭和27年10月 ナイロン・レーヨン混紡糸の
生産開始

昭和32年12月 ナイロンタイヤコードの生産開始

昭和46年 4月 オープンエンド精紡機を設置

昭和54年 4月 革新紡績機を設置

平成 4年 8月 医療用具製造許可を取得し、生産開始

平成 5年10月 液晶カラーフィルターの生産開始

平成12年 9月 ISO14001認証取得

平成17年 4月 ISO14001 2004年版運用開始

工場内の関係会社

東レエンジニアリング(株)

エレクトロニクス製造関連装置と検査、計測・制御機器、プリンターなどの設計、製作、施工

東レ・プレジジョン(株)

精密機器、光デバイスおよび工作機械類の製造・販売

滋賀殖産(株)

付帯業務の請負、各種製品の生産・加工・販売

東洋実業(株)

構内物流作業の請負、各種製品の生産・加工

目 次

- . ごあいさつ
- . 東レグループの環境に関する基本理念
- . 東レ（株）瀬田工場環境方針
- . 環境保全への取り組み
 - ISO14001 認証取得
 - 水質汚濁防止
 - 大気汚染防止
 - 廃棄物の削減
 - 地球温暖化防止
 - 環境保全費用
 - 平成18年度化学物質排出・移動量
 - 安全活動
 - 防災活動
 - 環境訓練
- . その他の活動
 - 地域社会とのコミュニケーション
 - 環境にやさしい「トレスルー」を歩道に使用
 - 環境管理実施事業所として認定

. ごあいさつ

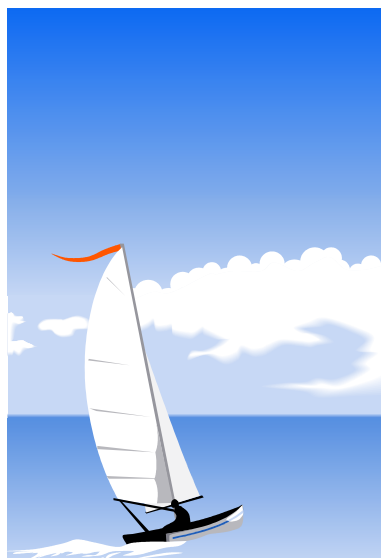
東レグループは、安全・防災・環境保全を最優先経営課題として取り組んでいます。

東レグループは、経営理念の行動指針に「安全・防災・環境保全を最優先課題とし社会と社員の安全と健康を守り環境保全を積極的に推進します」と掲げ、省エネルギー、廃棄物の削減、化学物質の排出抑制、リサイクルなど、環境活動の充実に努めています。

当工場は1938年に生産を開始し現在では生産のみならず、開発センター機能をも併せ持った複合工場です。直面する環境問題に、レスポンシブル・ケア活動の一環として2000年9月に認証取得した、「ISO14001」環境マネジメントシステムを通じ、今後も環境保全・環境改善について積極的に取り組んで参ります。

本報告が、東レ瀬田工場、東レエンジニアリング瀬田工場および東レ・プレジジョンの環境保全・環境改善活動について、皆さまにご理解いただく一助となれば幸いです。

東レ（株） 瀬田工場長
吉村 裕司



* 工場に飛来するカルガモ親子のスナップ

．環境に関する基本理念

東レおよび東レグループ各社では、安全・防災・環境保全を最優先経営課題とし社会と社員の安全と健康を守るとともに、環境保護とエコロジーに対応した製品・技術開発により社会に貢献していきます。

．東レ（株）瀬田工場 環境方針

近畿の水瓶琵琶湖に隣接する瀬田工場は周辺環境との調和を常に意識し、東レ（株）経営理念における行動指針「安全・防災・環境保全を最優先課題とし社会と社員の安全と健康を守り環境保護に努めます」に沿って、以下の具体的環境方針を策定し、瀬田工場働く全ての人によって環境マネジメント活動を推進していきます。

1	環境マネジメントの適切な運営により、環境マネジメントシステムを継続的に改善します。
2	環境への排出物や廃棄物の削減を行い、汚染の予防と防止に努め、エネルギー消費の少ない工場づくりを進めるとともに、環境にやさしい製品、活動及びサービスの提供に努めます。
3	環境関連の法規制及び工場が同意したその他の要求事項を順守します。
4	環境目的・目標を設定し、その実現を図るとともに定期的に見直します。
5	本方針は文書化し、実行し、維持するとともに工場働く全ての人に周知徹底します。
6	本方針は、一般に公開します。



制定：平成11年 4月27日
改訂1：平成13年 2月 5日
改訂2：平成17年 4月 1日

瀬 田 工 場 長

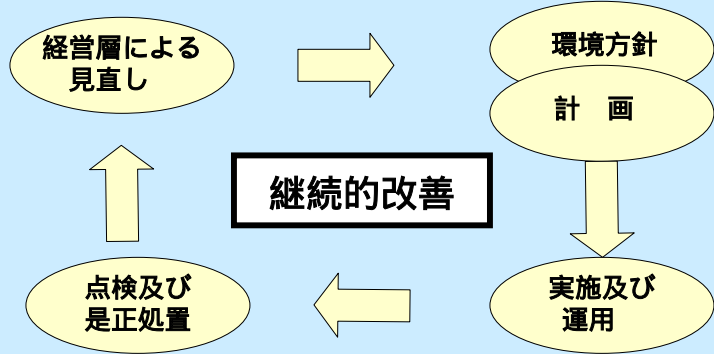
. 環境保全への取り組み

ISO14001 認証取得

東レおよび東レエンジニアリングは2000年9月8日付けで、また、東レ・プレジジョンは2003年8月29日付けで環境マネジメントシステムの国際規格「ISO14001」を認証取得し運用しています。



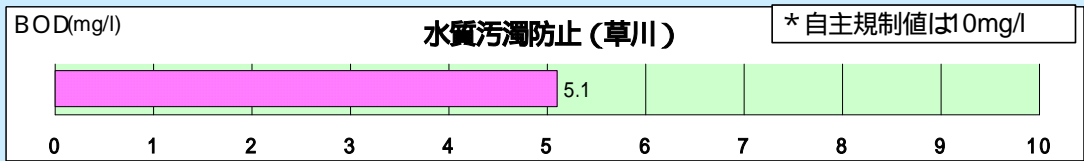
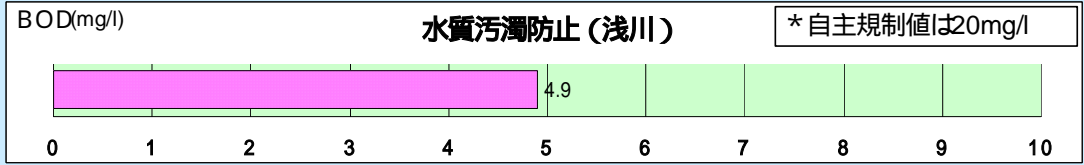
- ### 平成19年度 工場目標
- ・ 総廃棄物の排出量を58.0t以下へ抑制。
(FORCE, CMPを除く東レ本体の総廃棄物量)
 - ・ FORCE 総廃棄物量を680.0t/年以下
 - ・ CMP 総廃棄物量を19.0t/年以下
 - ・ ゼロエミッションの継続維持。
 - ・ エネルギー費用を3.85百万円以上削減。
 - ・ 業務に密着した環境活動の実行。
 - ・ グリーン購入の推進。(目標値: 80%以上)



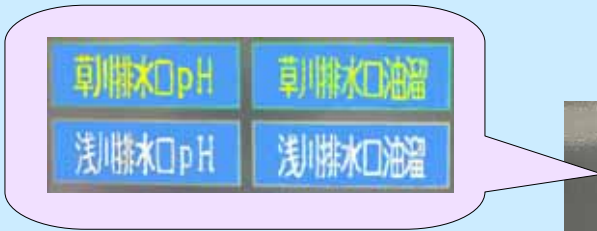
上記のシステムを継続的に実施することによって、環境負荷の低減や事故の未然防止に努めます。

水質汚濁防止

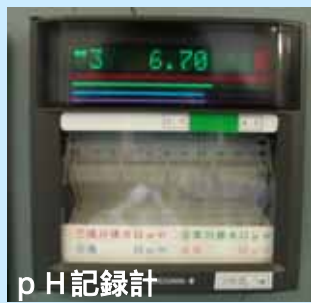
工場の排水には、浅川、草川および市下水道へ流す3系統があります。その内、浅川、草川の排水口には、pHと油の異常警報装置および油分離装置を設置し、万一の場合に早期発見と公共水域への流出防止ができるようにしています。また、草川については下流堰の所に油の異常警報装置を設置して、近隣地域から流出してくる水も含め、異常が発見できるようにしています。



BOD：生物化学的酸素要求量（有機物が微生物により酸化分解されるときに必要な酸素量。河川の汚濁指標。）
2006年の最大実績値



工場出口の放流水は常時監視しています。

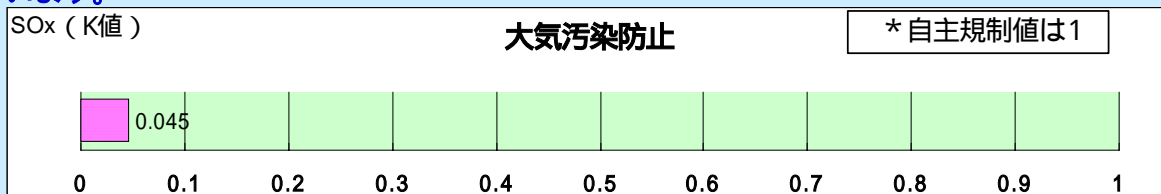


工場内の排水路について、排水の種類ごとに色を決めマンホールの色分け、流入経路の表示など徹底した管理をしています。



大気汚染防止

ボイラーから排出される硫黄酸化物については、運用管理を徹底し、規制値をクリアしています。

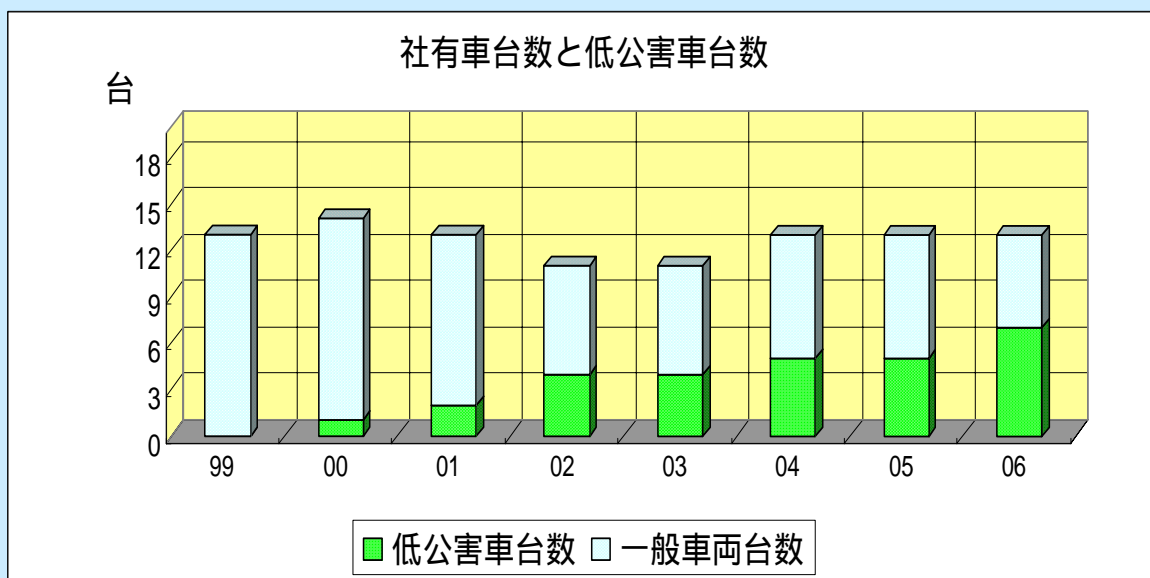


K値：硫黄酸化物排出基準の算出における数値
2006年の最大実績値

環境負荷の低減

東レエンジニアリング（株）は、「滋賀県大気環境への負荷の低減に関する条例」に基づいて「自動車管理計画表」に下記項目を行動目標として挙げ、環境負荷低減に努めています。

1. アイドリングストップの徹底
2. より低公害な自動車の使用・リース更新時低NOx車への転換
3. 燃料消費量および走行距離の削減

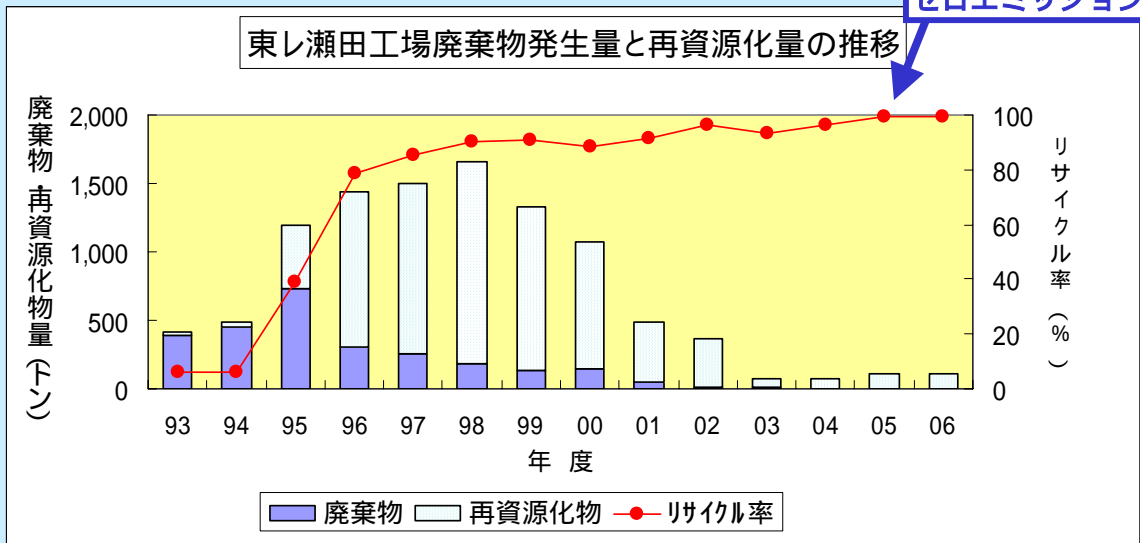


廃棄物の削減

東レ（株）瀬田工場

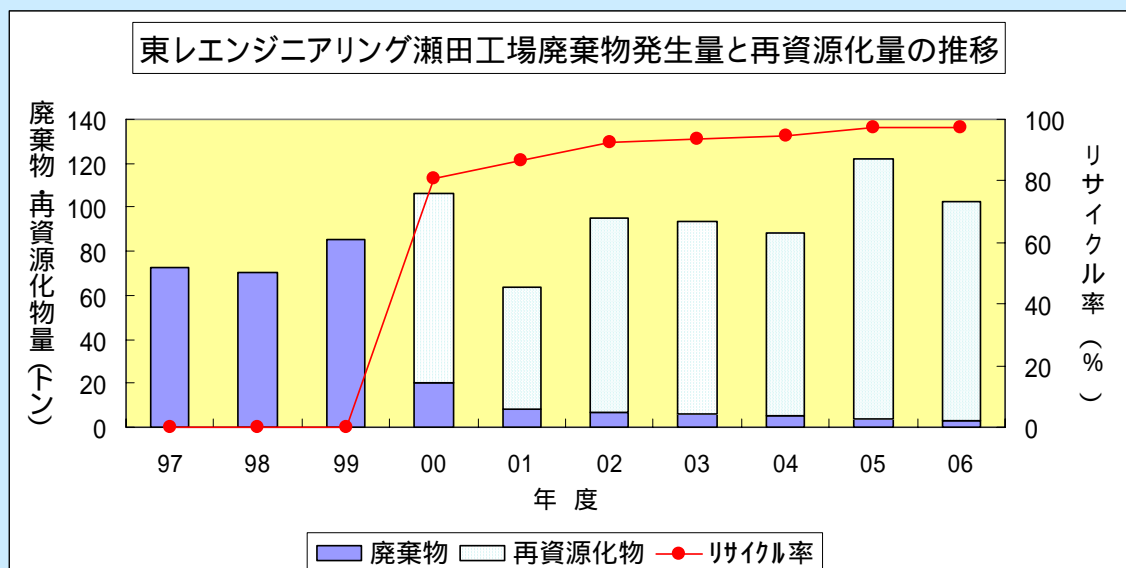
1999年から計画的な廃棄物削減に努め、廃棄物排出量の削減、再資源化を積極的に進めています。また、2005年4月より「ゼロエMISSIONの達成」をISO14001の目標に挙げて活動し達成することができました。

ゼロエMISSION達成



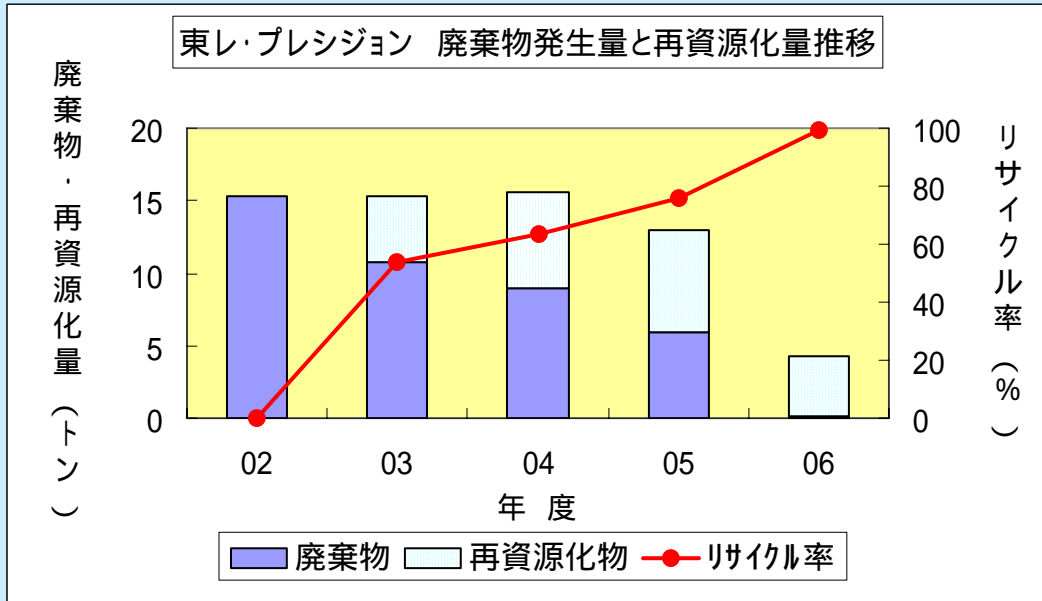
東レエンジニアリング（株）瀬田工場

東レエンジニアリング瀬田工場は廃棄物を少しでも削減するため、2000年から削減目標を設定し、計画的に3R活動（REDUCE:減量，REUSE:再使用，RECYCLE:再資源化）を積極的に推進してきました。2007年度は埋立廃棄物を大幅に削減し「ゼロエMISSION」の達成を目指した活動を推進し、環境負荷の低減に務めています。



東レ・プレジジョン（株）

東レ・プレジジョンは2003年より廃棄物削減目標を設定し、計画的に総廃棄物量の削減と再資源化を積極的に推進しています。

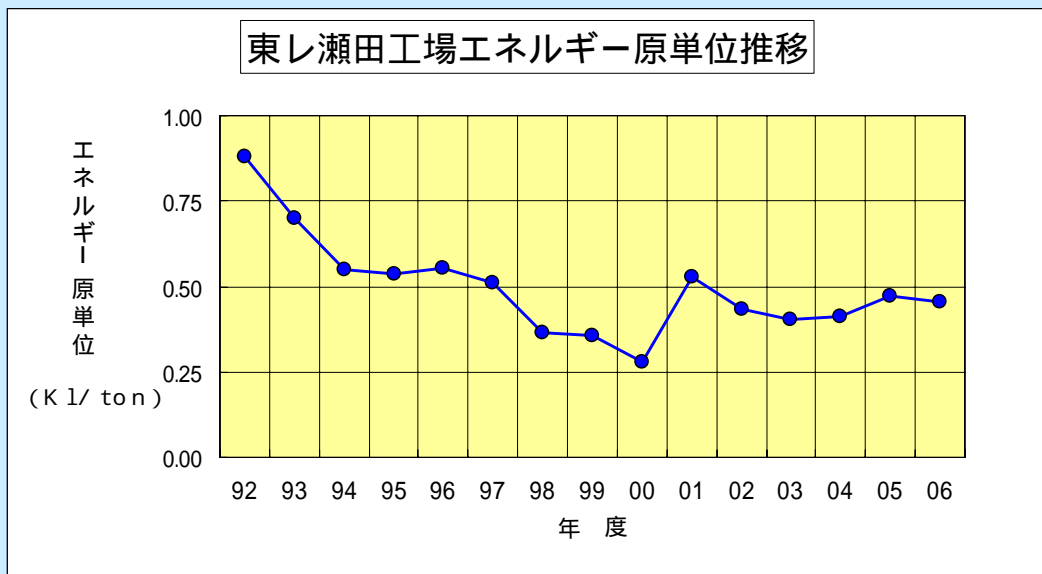


地球温暖化防止

東レ（株）瀬田工場

地球温暖化防止策として、省エネルギー推進委員会を設置し、省エネ診断を行い、設備の改善や使用条件の見直し、管理強化など対策実行により省エネルギーの推進を実施し、二酸化炭素排出量の削減に努めています。

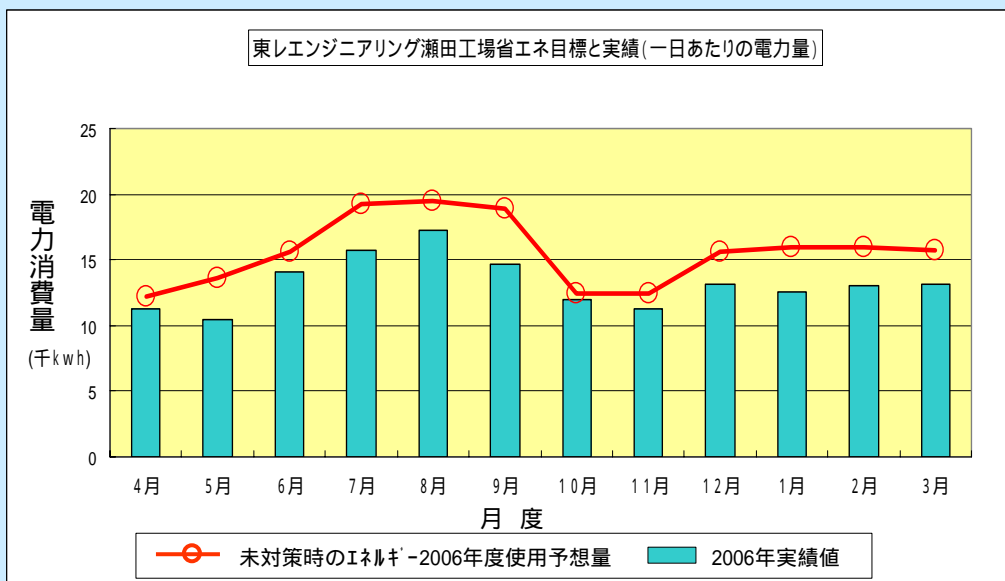
これにより長期的にエネルギー原単位の改善を推進しています。



東レエンジニアリング（株）瀬田工場

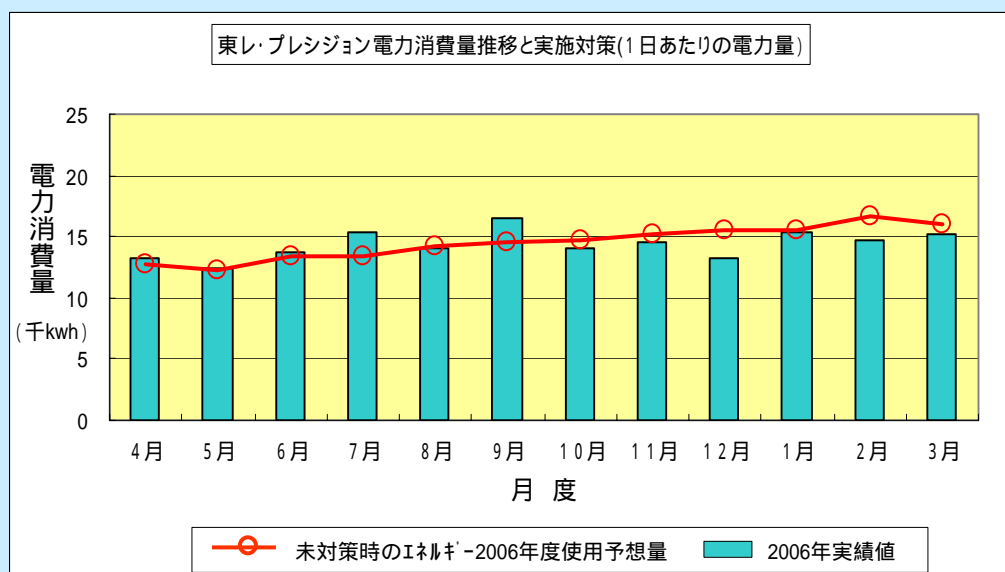
東レエンジニアリング瀬田工場は、その業務形態から使用エネルギーは電力が主であり、省エネルギー活動も電力消費抑制を中心に展開しています。

一昨年からの受注増の中で、日常の活動として電力消費の多いクリーンルームの室温・運転管理やエコアイス化、さらに不要照明の消灯、OA機器の電源OFFなどこまめな日常管理を展開し、省エネ活動を通じて地球温暖化防止に努めています。



東レ・プレジジョン（株）

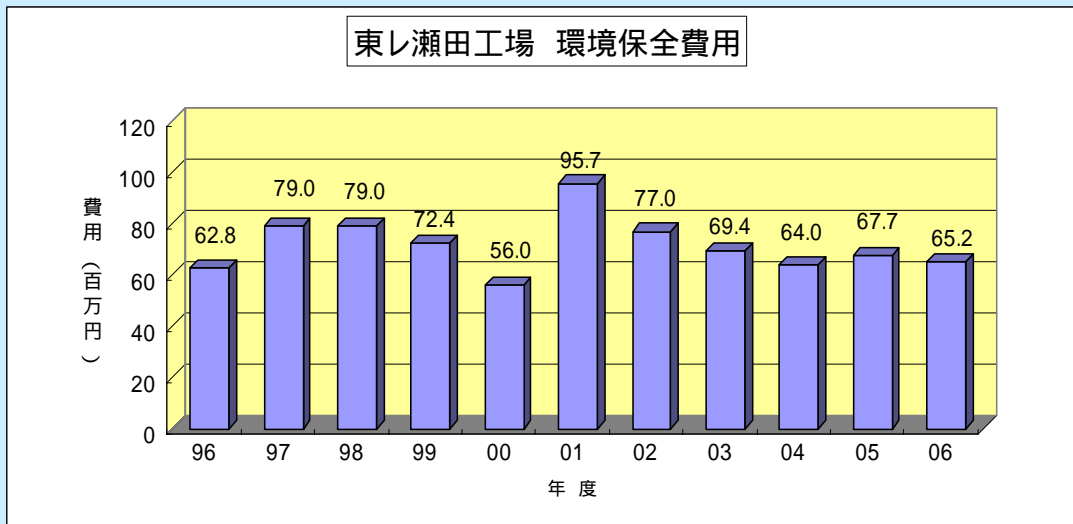
東レ・プレジジョンは、増設に伴う大巾な消費電力増の対策としてルーフファンと屋根裏換気設備等の対応で特に夏場の消費電力を抑制し、省エネに努めています。



環境保全費用

東レ（株）瀬田工場

環境保全に対する効果を上げるために、継続して環境投資を実施しています。



平成 1 8 年度化学物質排出・移動量 (P R T R 該当物質)

当工場で取り扱っている P R T R 法対象物質は、特定第一種指定化学物質の酸化エチレン 1 物質のみです。本物質については平成 1 5 年 6 月に、燃焼して無害化する設備を導入し 1 0 0 % 除去できています。なお、本物質の水域や土壌への排出はありません。

物質名	単位	大気への排出	水域への排出	工場外への移動	敷地境界線での濃度
酸化エチレン	Kg/年	0	0	0	検出なし

酸化エチレンガス燃焼装置



安全活動

全国安全週間中の「安全大会」開催



KYT(危険予知訓練)競技会



小集団安全ミーティング



工場長による安全パトロール



防災活動

防災訓練



防災訓練



火災・爆発の擬似体験教育



起震車による地震体験訓練



環境訓練

万一の環境事故を想定し、緊急時対応訓練を定期的の実施しています。



. その他の活動

地域社会とのコミュニケーション



淡海エコフォスター

東レ瀬田ゲル-プは滋賀県が実施している淡海エコフォスター活動に参加し、近隣の周辺道路の清掃活動を行っています。



施設開放

緑の多い瀬田工場では要望に応じて施設を近隣の方に開放しています。写真は近隣の幼稚園の方が城山（窪江城跡）で遊ばれる一コマです。



河川清掃

毎年「びわ湖を美しくする活動」の一環として、工場沿いの河川清掃を行っています。工場内の草川では、近年「蛭」が多く見られる様になりました。



紙パックの再利用

社員寮で牛乳パックを回収し、支所に届けるリサイクル活動を行っています。



アルミ缶回収活動

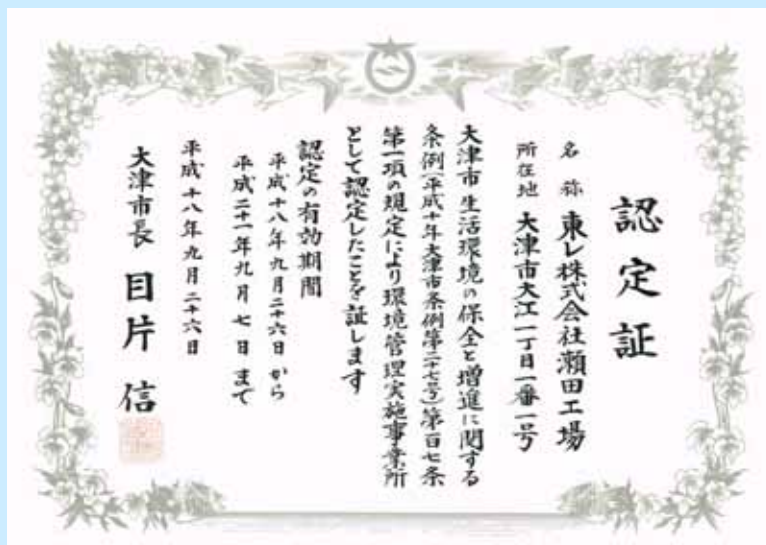
知的障害者授産施設「ノエルしごとの家」のアルミ缶回収事業に協力しています。

環境にやさしい「トレスルー」を歩道に使用



大津市の浅川改修工事が完了し、工場の正門周辺を整備しました。正門前歩道には瀬田工場で開発した「トレスルー」を使用しています。「トレスルー」は、リサイクル95%のエコマーク商品で、透水性、保水性に優れた機能性舗装材です。雨の日でも水たまりができずに滑りにくいいため安全に歩けます。また、保水力があるため、夏場に路面温度の上昇を和らげる効果があります。

環境管理実施事業所として認定



大津市生活環境の保全と増進に関する条例により、環境管理・審査が整っている事業所として、平成16年3月に「環境管理実施事業所認定」を受けました。

'TORAY'